

お知らせ

高速道路ネットワークの更なる有効活用に向けた料金社会実験の実施(中間報告)

～ 物流効率化を促進するための料金割引導入に向けた社会実験 ～

1. 概要

- ・昨年末に閣議決定された「道路特定財源の見直しに関する具体策」においては、高速道路料金の引下げなどによる既存高速ネットワークの効率的活用・機能強化のための新たな措置を講ずることとされています。
- ・このため、料金引下げに伴う効果と影響等の把握を目的として、物流効率化を目的とした料金社会実験を6月24日より開始し、平成20年度以降の新たな措置に向け、詳細な検討を進めています。(資料-1)
- ・この度、東名高速道路の裾野IC～東京IC間で実施中のETCの夜間割引を拡充した実験の中間取りまとめが出来ましたので報告致します。
伊勢湾岸道のみえ川越～東名阪道の亀山IC間の実験につきましては、取りまとめ次第報告致します。

2. ポイント

- 1) **東京IC料金所の待ち車両が大幅減少、料金所周辺の交通安全に寄与** (資料-2)
 - ・午前0時前における待ち車両台数が大幅減少し、料金所周辺の交通安全の向上に寄与。
- 2) **並行する一般道から高速道路へ交通が転換** (資料-3)
 - ・清水IC～富士川スマートIC間の20～23時の上りの交通量(全車)は、実験前と比較して一般道のシェアが1.5ポイント減少(49.4%→47.9%)し、一般道から高速道路への転換に寄与。
- 3) **約9割が実験メリットを実感** (資料-3)
 - ・アンケート結果では、約9割のドライバーが「満足」もしくは「どちらかという満足」と回答。

3. 資料 別添資料

4. 問い合わせ 中部地方整備局 道路部 地域道路課長 岡田 武久

専門官 塩梅 崇 TEL 052-953-8170
中日本高速道路(株) 横浜支社 広報・CSチーム TEL 045-475-9207